



淡海ふれあい病院は主に慢性期医療を担当しています

- 急性期治療を終えられてもすぐに自宅に帰れない
- 中等度以下の病状悪化で入院を要する住民の方
- 自宅療養されている方のレスパイト入院

淡海ふれあい病院は滋賀県で58番目にできた新しい病院で、2021年10月1日に開設1周年を迎えました。  
淡海医療センターが急性期医療を担当し、淡海ふれあい病院は主に慢性期医療を担当しています。

この病院は単なる慢性期病院ではなく、地域包括ケア病棟を中心とした在宅療養支援病院として活動しています。すなわち、約2か月で患者さんを地域や自宅にお戻しする、在宅復帰を目標とした病院です。



患者さん一人ひとりに寄り添った細やかで丁寧な医療を提供してまいります

淡海ふれあい病院の「外来診療」



外来では、疾患や専門領域に偏らない総合的な内科・外科診療を実施しています。紹介状を持たずに受診しても「選定療養費」はかかりません。また、CT検査や超音波検査が予約なく受けられます。何か困られた際の健康相談も行っています。



淡海ふれあい病院外来のご案内

診察日 月曜日～金曜日

診察時間

9:00～13:00

(受付8:00～11:30)

14:00～17:00

(受付13:00～16:00)



<https://www.seikoukai-sc.or.jp/omifureai>



訪問診療が必要とされる時代がやってきます

淡海ふれあい病院  
院長 平野 正満  
外科専門医、消化器外科専門医

訪問診療を含む在宅医療は、第3の医療(第1の医療は外来、第2の医療は入院)とされ、今後ますます重要となってきます。現代社会は多様化し、医療の受け方も様々です。最後まで住み慣れた自宅で過ごしたい方も少なくありません。特に、超高齢社会に突入し、病院への通院もままならない患者さんが多い中、安心して生活を送るために在宅医療は必須となってきます。その中心となるのが訪問診療なのです。



当院も令和2年2月から訪問診療を開始し、既に100件を超える訪問診療を実施してきました。現在、対象とする患者さんは介護度の高い患者さん、癌末期の患者さん、複数の処置を有する患者さんなどに限定しています。その多くは当院から退院された患者さんで、入院から在宅までの切れ目のない医療と看護を提供することを目指しています。入院退院を繰り返す方が多いことから、「時々入院、ほぼ在宅」の理念や真の地域包括ケアシステムを実現しています。今後も地域のクリニックの先生方とすみ分けを図りながら協働して訪問診療を展開していきたいと思



肺炎を克服して自宅で療養されているAさん。奥さまの手厚い看護が大きな支えとなっています。



さらに院内に草津市在宅医療看護連携センター(草津市東医師会、草津市)が設置されています。病院や医師会、行政が一体となり、湖南地域のこれからの高齢者医療を支えていきたいと考えています。

【訪問診療の主な内容】

- 診察、血圧測定、体温測定などの健康チェック
  - 点滴、投薬などの治療
  - 採血、検尿などの検査
  - 療養上の相談、指導
  - 床ずれの処置
  - 酸素療法、経管栄養法など
  - 経尿道カテーテル
  - 各種ストーマの管理、ケアなど
- 病気や不調に対する診察、治療をはじめ、体調管理や指導なども含まれます。



住み慣れた自宅や地域でのより良い療養生活をサポートします。そして一人ひとりの人生の物語が自分らしく納得して完結できることを目指します

今回のテーマ

淡海ふれあい病院  
在宅医療を支える「訪問診療」



訪問診療とは

通院が困難な患者さんのもとに医師が定期的に診療にお伺いし、計画的に治療・看護・健康管理を行います。